



千葉労働動向

国鉄千葉動力車労働組合

〒280 千葉市要町2番8号(動力車会館)

電話 | (鉄電) 千葉 2935・2936 番
(公) 千葉 (22) 7207 番

92.4.22 No. 3578

夏季物販2倍化を実現しよう!

協販部・後藤俊也さんに聞くー「全国オルグに行ってお元気になろう」

今年で六年目に入る物販闘争について、昨年からの協販部担当として、闘病生活を克服して連日奮闘されている後藤俊也さんに、夏季物販2倍化に向けた決意をインタビューさせていただきました。
五月の連休明けから本格的にスタートする全国物販の取り組みにとって、全組合員が一丸となりうって出ていく気構えがここに示されています。

二倍化実現の一端を担って!

(編集子) 昨年の冬季物販から二倍化方針が提起され、一定の成果をあげたわけですが、まず初めに夏季物販への決意をお聞きしたいと思います。

(後藤氏) 物販運動自体が六年目ということもあり、みなさん動労千葉についてはよく知っているわけです。運動を理解していただくと共に、物資販売ですから、「あそこは頑張ってるな」と思えば応援しようというところで買ってくれる。お互い労働者ですから話せばわかる。ですからいかに多くの人に会えるかということの二倍化なわけです。私もその一端を担っていきたいと思います。

今次三波ストの意義をどう出すか

(編集子) 物販オルグの場合、実際の現場に入っていくことが多いわけですが、現在「連合」状況という中で、そこをどう克服していくのかと尋ねることが問われていると思います。

(後藤氏) 私鉄が十一年ぶりにストに入ったように「連合」の危機をヒシヒシと

感じます。「時短」ひとつをとっても、みせかけのものでしかない。JR東日本の勤務制度改革・「時短」に最も特徴的に資本側の攻撃が表れている。このことは労働者にとって共通する課題です。
自信を持って、今春の三波ストの意義を打ち出していくことが、全体状況を変えていくものと確信しますし、「連合」を打破していく力になると考えます。

お互いの空気が入るこれが物販オルグだ

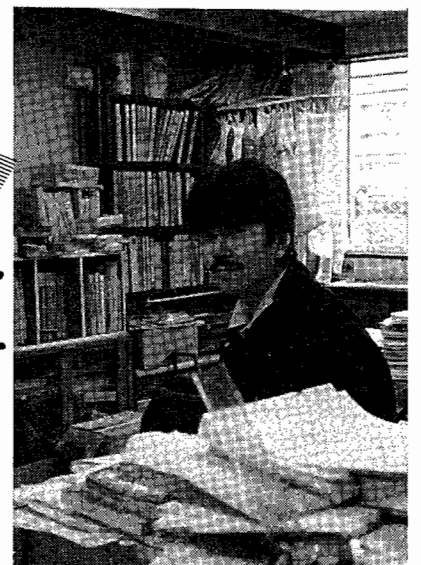
(編集子) 組合員にとっては、全国オルグに行く場合、ほとんどが初めて入っていく組合であって、行く前は「不安だ。重い気分になる」という方もいると聞いています。後藤さんの場合どういう感じで行くのか、気構えをお聞きしたいと思います。

(後藤氏) 組織内だけに止まっているとJR内のことが、異常なことにはわかっていても、「常識」のように感じてしまう。行った先でその労組の運動を肌で知ってくるという感じですね。これだと結構入りやすいんですよ。組合事務所が徹布に囲まれて話す。抱えているものはどういふものがあるのかメモしてやる。次ぎに行った時にはこういう話しをしよう。どんどん物販運動自体が広がっていく。行ったところから注文が入る。お互いが空気を入れながらやれるのが、全国物販オルグだと思っています。

「これが非常にいいんだよね」
(二人で) すばらしい!
(編集子) 一回でも経験するとまた行きたくなる。やみつきになりますよと尋ねることですね。

最後に後藤さんの健康面について心配している組合員も多くいます。近況を含め

て解雇撤回・原職奪還に向けた心境をお聞きしたいと思います。



完全回復帰 頑張ります!

(後藤氏) 私も倒れて丸三年経ちますが、先週で診療は終わりました。完全復帰したと思っています。御心配をお掛けしましたが、動員等で組合員の皆さんの元気な顔を見たいのでぜひ参加して欲しいと思います。

(編集子) 本日は「空気」の入る貴重な話しを、ありがとうございました。

戦 反 戦 反 戦 反 戦

統一行動

—東京日本青年館18時—
(千葉駅10番線11時17分快速)

4.29